



# わ だ ち

No. 145

wa da chi

平成24年11月号



( 2012年10月14日 JR北陸線 敦賀駅 撮影 森家和治)

## 北陸線 長浜～敦賀間開業130周年記念ヘッドマーク!

JR西日本では、北陸線の長浜～敦賀間が開業130周年を迎えるのを記念し、普通列車521系の一部編成に記念のヘッドマークを掲出しています。

福井支部 ホームページアドレス

URL [http://www.geocities.jp/railfan\\_fukui/](http://www.geocities.jp/railfan_fukui/)

# 粟田部-岡本間の開業は大正3年か4年か

～武岡軽便鉄道の開業年にまつわる2説を追う～

渡邊 誠

生まれた土地柄から福井鉄道南越線にはあまり関心はなかったのですが、昨年支部見学会を機に少し歴史を探ってみました。すると、文献によって開業の年月日がまちまちなことに気づきました。何百年も前の話ならいざ知らず、ただか100年ほどに過ぎないのにいくつもの説があるのは腑に落ちません。またまた市井スズメが探求の旅に出ることにしました。

## 【1】福井鉄道南越線の概要

福井鉄道南越線は、今立郡東部山麓地帯と北陸線とを結ぶため、武岡軽便鉄道が大正3(1914)年に新武生(後の社武生)～五分市間を軌間762mmの蒸機運転で開業したのをルートとする。以後小刻みに延長開業を繰り返し大正13(1924)年に戸ノ口(現・鯖江市)までの全線14.3kmを開業した。

この間、1067mmに改軌するとともに武岡鉄道さらに南越鉄道と社名を変えている。

昭和16(1941)年7月、戦時統合で福武電気鉄道に吸収され同社の南越線、昭和20(1945)年8月には鯖浦電気鉄道の併合を機に現社名の福井鉄道株式会社となった。

戦後の昭和23(1948)年3月には電化したが、社会環境の変化から昭和56(1981)年までに全線が廃止された。

なお、この武生-岡本新間の敷設に至る経緯については、『福井県史研究第12号』(平成6年 福井県)所収「福井県における軽便鉄道の敷設-鯖江・武生地方を中心として-」に、岡本新-戸ノ口間の延長に関しては、『鯖江郷土史懇談会会誌第7号』(平成11年 鯖江郷土史懇談会)所収の「大正後期、鯖江町・武生町東部地方の鉄道敷設について」に詳述されている。著者は両誌とも小谷正典氏。図書館などで一読いただきたい。

## 【2】各種刊行物に見る各区間の開業年

南越線は新武生-戸ノ口間を4回に分けて開業している。各区間ごとの開業日を数ある書籍類のうち当支部報『わだち』、自治体史、主として県内向け出版物、全国向け出版物からそれぞれ若干数を拾って表-1にまとめて

表-1 南越線各区間の開業年月日		上段：開業年月日 T:大正, S:昭和, H:平成 下段：書中に記載の典拠				
書名・出版者	執筆者 刊行年月	新武生～ 五分市	五分市～ 粟田部	粟田部～ 岡本新	岡本新～ 戸ノ口	
わだち	50号, 105号所収『福井県の鉄道年表』 当支部	田中完一 H17-12	T3-1-28 —	T3-5-22	T3-8-26 —	T13-9-12 —
	50号所収『武岡軽便鉄道』 当支部	岸由一郎 H7-11	T3-1-29 —		T4-8-2 —	— —
自治体史	『福井県史』通史編第5巻5章4の2 福井県	H6-11	T3-1-30 福井日報		T4-8-26 福井新聞	T13-9-12 —
	『鯖江市史』通史編下巻 鯖江市	H11-3	T3-1-29 福井日報		T4-8-26 福井日報	T13-9-12 —
県内向け出版物 主として	『汽笛百年ふくい鉄道史』 福井新聞社	島津徹史 S57-11	T3-1-28 —		T3-8-26 —	T13-9-12 —
	『ありし日の南越線』 福井鉄道	H11	T3-1-28 —		T3-8-26 —	T13-9-12 —
	『福井県史研究第12号』福井県における軽便鉄道の敷設-鯖江武生を中心に- 福井県	小谷正典 H6-3	T3-1-29 —		T4-8-26 —	T13-9-12 —
	『福井公共交通の歴史』 地域経済研究所	本田ほか H12-10	T3-1 福井県史		T4-8 福井県史	T13-9 福井県史
全国向け出版物	『私鉄の廃線跡を歩く3 北陸上越近畿編』 ITBパブリッシング	H20-5 寺田裕一	T3-1-28 —		T3-8-26 —	T13-9-12 —
	『新・鉄道廃線跡を歩く3 北陸信州東海編』 ITBパブリッシング	H22-4 徳田耕一	T3-1-29 —		T3-8-26 —	T13-9-1 —
	『日本鉄道旅行地図帳 6 北信越』 新潮社	H20-10 今尾恵介	T3-1-29 —	T4-8-26 —	T13-9-1 —	
	『軽便鉄道時代』 ITBパブリッシング	H22-1 岡本憲之	T3-1-29 —	T4-8-26 —	— —	

みた。このうち五分市-粟田部間のみ各誌とも大正3年5月22日で異同はないが、他の3区間では見事なほど諸説紛々としている。

### 【3】各区間の検証

#### [1] 粟田部-岡本間

開業順からは前後するが、本稿の主たるテーマである粟田部-岡本間の検証から始める。

##### (1) 『わだち』

『わだち』50号(平成7年)および105号(平成17年)で田中支部長が著された「福井県の鉄道年表」では、新武生-五分市間、五分市-粟田部間、粟田部-岡本新間のいずれも大正3年中に開業したことになっている。本稿では以下これを**同年説**と称することとする。同年説は以下の書籍にもあるほか、先ごろ改装された北府駅<sup>きたご</sup>での掲示でも採られている。

- ・『汽笛百年ふくい鉄道史』  
島津敏史 昭和57年 福井新聞社
- ・『ありし日の南越線』  
福井鉄道 平成11年
- ・『私鉄の廃線跡を歩く3北陸上越近畿編』  
寺田裕一 平成20年 JTBパブリッシング
- ・『新・鉄道廃線跡を歩く3北陸信州東海編』  
徳田耕一 平成22年 JTBパブリッシング

##### (2) 『福井県史』

一方、『福井県史 通史編5近現代一』および『福井県史年表』では、粟田部-岡本新間の開業を翌大正4年としている。こちらを**翌年説**と称することとする。翌年説は以下のような書籍に見られる。

- ・『鯖江市史 通史編下巻』鯖江市 平成11年
- ・『福井公共交通の歴史』  
本田義明ほか 平成12年 地域環境研究所
- ・『日本鉄道旅行地図帳 6北信越』  
今尾恵介 平成20年 新潮社
- ・『軽便鉄道時代』  
岡本憲之 平成22年 JTBパブリッシング

##### (3) 翌年説の典拠を探す

① **新聞** 『県史』や『鯖江市史』には各事項の典拠として『福井新聞』や『福井日報』、『大阪朝日新聞(北陸版)』などがよく挙げられている。



資料-1 『福井新聞』大正4年9月12日付  
越前市中央図書館蔵

そこで当時の新聞がどこかにないか探したところ、越前市中央図書館に大正4年9月12日付『福井新聞』(資料-1)のコピーが保存されていた。「武岡軽鉄開通記念号」と銘打ち4ページの特集を組んでいる。マイクロフィルムではなく等倍コピーなので、かなり色あせてはいるが読みやすい。そこには以下のように、粟田部以東と以西には1年のブランクがあったと明確に書かれている。

粟田部以東岡本新駅の	終点までは僅々一哩の	六分過ぎる距離	なれど創立以来幾多の	事情あり且つ資本金と	の係り上田部以東の	工事は一時的に止居た	りも今は春工事を起し	月二六日を以て岡本	新驛までの開通を運ぶ	に至り第一期工事	全線六哩は茲に全部	開通を見たるを以て本	日を以て開通祝賀会を	挙ぐることなれり
------------	------------	---------	------------	------------	-----------	------------	------------	-----------	------------	----------	-----------	------------	------------	----------

また、引用した部分より前段には、五分市まで開通した大正3年は、昭憲皇太后の喪に服するため開通祝賀会を延期したとも書かれている。

② **官報** 「国立国会図書館デジタル化資料」<http://dl.ndl.go.jp/>にて当時の官報を探してみたところ、大正4年8月30日付(資料-2)が見つかった。大正4年8月の24日に許可し26日から営業を開始と書かれている。

③ **時刻表** 『汽車汽船旅行案内』大正4年3月号(資料-3a、3b)に、大正4年1月改正時刻表が抜萃で記載されているが、岡本新駅はない。

また、『味真野村名蹟誌』(江藤漁史著 岡野鶴治出版 大正3年12月 越前市中央図書館蔵)(資料-4)には全便が記載されているが、やはり岡本新駅はない。

○輕便鐵道運輸開始 本月二十四日武岡輕便鐵道株式會社ニ對シ 粟田部、岡本新聞運輸營業開始ヲ許可セシニ同二十六日ヨリ營業開始ノ旨届出テタリ其哩程左ノ如シ(鐵道院)

粟田部岡本新聞

○運

(4) 同年説の典拠を探す

先に掲げた同年説の各誌には、いずれも典拠が明示されていない。この中でもっとも先行したのは、昭和57年の『汽笛百年ふくい鐵道史』だが、これより古い時代の自治体史にでも手がかりがないだろうか。

『南条郡誌』(昭和9年)に「新武生岡本新聞六哩一分を輕便鐵道敷設免許を受け(中略)大正3年1月9日五分市まで創業同8月竣工」(P261)とある。短い文章に留まるが、岡本まで大正3年中に開業したことになる。また、「大正12年(正しくは14年)戸ノ口まで延長」(P482)ともある。

『今立町誌』(昭和57年)では、「大正3年に武生と岡本を武岡輕便

鐵道が敷設された。」(P932)とあるが、戸ノ口延長を大正5年、福武電鉄合併を昭和18年(正しくは16年)とするなど、これら2誌は史書としての信頼性に欠け、今のところ、同年説は典拠不詳としか言いようがない。

[2] 新武生-五分市間

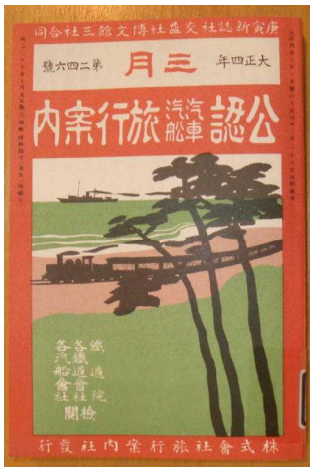
話は前後したが最初に戻って、新武生-五分市間の開業日を見てみる。大正3年1月の28日、29日、30日と3とおりの説がある。

① 新聞 前掲の大正4年9月12日付『福井新聞』では、29日の營業開始としている。

『福井日報』大正3年1月27日付(県立図書館蔵マイクロフィルム)では、「29日の開通が確定」と報じる一方、右に示す30日付では(傍線筆者挿入)、大見出しで29日とする

武生電話(廿九日)  
この間34行に他の記事2件  
武岡輕鐵開通 既報の如く武岡輕便鐵道は愈本日より開通することとなりしが同會社の開通式は來る三月頃全線の開通を見たる上にて舉行する由にて這回は單に運轉をなす

資料-2 官報 大正4年8月30日



資料-3a 『汽車汽船旅行案内』大正4年3月号

新武生發		北村		北村		五分市		粟田部發		北村		北村		新武生發	
11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00
11:10	11:10	11:10	11:10	11:10	11:10	11:10	11:10	11:10	11:10	11:10	11:10	11:10	11:10	11:10	11:10
11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20	11:20
11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30
11:40	11:40	11:40	11:40	11:40	11:40	11:40	11:40	11:40	11:40	11:40	11:40	11:40	11:40	11:40	11:40
11:50	11:50	11:50	11:50	11:50	11:50	11:50	11:50	11:50	11:50	11:50	11:50	11:50	11:50	11:50	11:50
12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00
12:10	12:10	12:10	12:10	12:10	12:10	12:10	12:10	12:10	12:10	12:10	12:10	12:10	12:10	12:10	12:10
12:20	12:20	12:20	12:20	12:20	12:20	12:20	12:20	12:20	12:20	12:20	12:20	12:20	12:20	12:20	12:20
12:30	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30
12:40	12:40	12:40	12:40	12:40	12:40	12:40	12:40	12:40	12:40	12:40	12:40	12:40	12:40	12:40	12:40
12:50	12:50	12:50	12:50	12:50	12:50	12:50	12:50	12:50	12:50	12:50	12:50	12:50	12:50	12:50	12:50
13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00

資料-3b 『汽車汽船旅行案内』所収の時刻表

新武生		五分市		粟田部	
下	九七六四三二二一〇九八六 時	五四〇三二〇四三三二一三 〇六〇五五〇五五〇五八〇 分	上	一〇八七五四三二二一〇九七 時	四五〇四二〇四三二二一三 九四八三五六〇五五〇五九 分
下	一〇八六四三二二一〇九八六 時	一一二五四二〇五五四三五 一〇四九五四五五〇五八四 分	上	一〇八六五四二二一〇九八七 時	二三四二〇四二一〇五六一 六一五〇六六一六六一六六 分
下	一〇八六五三二二一〇九八六 時	一〇五〇五二〇五五四五 六五九四〇九〇五〇三九 分	上	一〇八六五四二二一〇九八七 時	二三四〇三一一〇五五一 〇五九一〇九五〇〇五〇〇 分

資料-4 『味真野村名蹟誌』所収の時刻表 大正3年12月発行



ものの、他の記事を2つ挟んだ本文で「本日」と表現している。

30日説は、この「本日」を新聞掲載日と早合点したのではないだろうか。

② 官報 大正3年2月7日付官報(資料-5)には、28日に許可、29日に営業開始とある。

28日説は、この許可日と誤ったものであろう。

### [3] 岡本新-戸ノ口間

大正13年9月の1日と12日の2説がある。頻出度を物差しにするなら、『県史』も採る12日説のほうが有利そうにも見える。だが、真相はそうでもないようだ。

① 新聞 大正13年9月9日付『大阪朝日新聞』(県立図書館蔵マイクロフィルム)は下記のとおり、1日の開業と伝えている。

催物等に於いては夫々の	祝意を表した沿線の	引をなして乗車自割	り三日間あり	の餘興も乗車自割	妓手踊煙火打揚げ等	いて祝賀會を開き藝	式を擧げ武生座にお	武生驛において全通	始したの明十日新	戸の口間の運轉を開	月一日より新武生、	改良工事竣工して九	福井縣南越鐵道擴張
-------------	-----------	-----------	--------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------

② 官報 大正13年9月13日付官報(資料-6)でも、9月1日の営業開始、届出も同日付となっている。

新聞と官報による限り、少数派の1日説に軍配が上がるようだ。12日説の典拠は探し出せなかった。『県史』や『鯖江市史』もこの部分に関しては典拠を示していない。10日の全通式を報じた新聞の掲載日とでも取り違えたのであろうか。

### 【4】 福井鉄道に照会

これまでの調査結果を基に、福井鉄道に見解を伺ってみたところ、鉄道部池田宗弘氏から8月20日付で以下のような回答が寄せられた。

○ 通運  
 〇 輕便鐵道運輸開始 福井縣南越郡武生町大門川原二十八號六ノ一所在武岡  
 輕便鐵道株式會社ニ對シ 去月二十八日新武生、五分市間運輸營業開始ヲ許可  
 セシニ 同二十九日營業開始ノ旨届出テタリ其哩程左ノ如シ(鐵道省)  
 新武生 塚町 北間 五分市  
 新武生 塚町 北間 五分市  
 新武生 塚町 北間 五分市  
 新武生 塚町 北間 五分市

資料-5 官報 大正3年2月7日

官報 第三六一九號 大正十三年九月十三日

區間	哩程	運賃
岡本新-戸ノ口	7.0	〇.七
戸ノ口-中山村	7.0	〇.七
中山村-越前赤坂	7.0	〇.七
越前赤坂-野岡	7.0	〇.七
野岡-定友	7.0	〇.七
定友-岡本新	7.0	〇.七
栗田部-岡本新	7.0	〇.七

資料-6 官報 大正13年9月13日

(前略) 弊社としまして、社内現存の資料が乏しく確認が進まずにご返事がたいへん遅くなってしまった事、お詫び申し上げます。

今立の町史、南越線廃線当時の記念切符等調べさせていただきましたが、大正3年8月26日となっており出所は当時の同じ資料と推測されることから断定するまでは弱いというのが当社の結論です。

従いまして、ご提供の官報並びに福井新聞に間違いはないと思われます。

今後は弊社で管理しています資料等の修正に入らせていただきます。(後略)

武岡輕便鐵道の後継会社である福井鉄道に残る資料が正史であり、唯一不可侵なはずである。福井鉄道からは「新聞や官報が間違っている」との言質をいただけるものと期待したが、意外な回答に肩透かしを食らったようだ。

### 【5】 おわりに

最初の区間開業からあと2年でちょうど100年、資料の散逸もやむを得ないことだが、これだけ定着した同年説を完全否定することなど、市井スズメにできるものではない。翌年説の『県史』なども、官報や新聞記事に拠っているだけで、一次資料にあたった形跡は読み取れない。同年説を補強する材料をお持ちの方は、次号にでもご紹介いただきたい。

- ・新武生-五分市間 大正3年1月29日
- ・五分市-栗田部間 大正3年5月22日
- ・栗田部-岡本新聞 大正4年8月26日
- ・岡本新-戸ノ口間 大正13年9月1日

とりあえず今回は、上記が真実に近いのではないかと、まとめとする。 おわり